



奈良に愛!をはぐくむ会

会報 Vol.2

●編集/奈良に愛!をはぐくむ会
代表:西田一美
●発行日/2019年5月20日

女性を議会へ!

女性議員の比率は衆議院で1割、参議院で2割に過ぎず、先進国では最下位です。地方議会でも、「女性議員ゼロ」比率では奈良県は全国ワースト2位。自分のしたい仕事をと願う女性は増えていますが、子育ても介護も多くは女性が担っており働きたいけど働くことができない女性は奈良県には多くおられます。男性メインの議会で考えた子育て支援や女性政策ではなく、女性議員を増やして子育てしやすい、働きやすい真の国民のために政治を実現しなければなりません。まず、女性を議会に!

奈良に愛!をはぐくむ会 代表

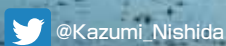
西田一美

NISHIDA
KAZUMI

奈良に愛。

西田一美 プロフィール

- 1961年 室生村に生まれる
- 1979年 県立榛原高等学校卒業
- 1981年 室生村役場就職
働く仲間や後輩の相談にのり、人に寄り添い、課題解決に取り組んできた。
自治労・連合奈良の役員を歴任。
- 2017年 連合奈良会長
- 趣味/音楽鑑賞
- 好きな食べ物/古都華(奈良梅)、豚キムチ鍋
- 好きなスポーツ/フィギュアスケート
- 好きな曲/「生きる」(関ジャニ∞)
- 資格等
・保育士/華道信貴山真華流師範/専修学校教員(和裁)





子どもの命を守る!

奈良県に寄せられる児童虐待通報は、年間 1,481 件。虐待により苦しんでいる子どもの命をまもらなければなりません。政府は性急な児童福祉司の増員を掲げますが、かけ声だけの数値目標ではなく、具体的な養成カリキュラムが必須となります。現場の声に耳を傾け、児童相談所の権限の強化や、自治体との情報共有など、きめ細やかに取り組みます。

また 7 人に 1 人の子どもが貧困、14 万人を超える児童生徒が「不登校」に苦しむ中、子どもの「居場所」と「食」を確保することが命を守る大前提です。背景にある多くの課題に寄り添いながら学校や地域と連携した対策に取り組みます。

女性の心と体を守る!

女性を DV や性的被害の暴力から守る仕組みが必要です。二次被害の恐怖から、その悩みを誰にも相談できない女性が数多くいます。専門家の配置や SNS も活用し、女性が被害を相談しやすい環境を整えます。

また、女性への差別やハラスメントは未だ横行しています。セクハラ防止策の導入は低迷したままです。政府に欠けている、パワハラも含めたハラスメントの徹底的な禁止の実現へむけて取り組みます。そして、自らの経験を活かし、あらゆる場への女性の参画推進と、男女がともに、「仕事、育児、介護」に喜びと責任を分かち合う意識改革のための活動を行います。



奈良県中央子ども家庭相談センターを視察・ヒアリング。



奈良市子ども未来部子育て課を訪問し職員と意見を交わす。

